

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2021年12月21日

事業所名：オリオンあなせ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	スペースは十分に確保できている。	はい:24名 わからない:1名	
	2 職員の適切な配置	基準に適した人数配置をしている。	はい:18名 わからない:7名	現状で対応していく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	玄関に段差・階段がある。フロアはバリアフリーである。スケジュール提示をしている。	はい:19名 どちらともいえない:2名 わからない:4名	利用児童に応じてスケジュールの提示方法を変えている。環境面(ハード面)の改修は困難であるが、人的配慮で対応する。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	日々、清掃・消毒を行い活動に応じたスペース確保を心掛けている。適宜、換気を行っている。	はい:21名 わからない:4名	毎日朝・夕に消毒を実施することを継続する。エアコンフィルターや窓ふきなど定期的実施する。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	業務改善、見直しを行っているが改善につながっていないこともある。		意欲的に業務を行えるよう改善していきたい。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現在は実施していない。		今後検討・実施を行う。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	法人内研修への参加、web研修の受講の実施。		時間の都合で受けられない研修などがある為、希望する研修を受けられるように業務改善を行う。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	ニーズの聞き取りは利用時に聞き取ることが多いが、細かいアセスメントまで行っていない。サービスなど利用計画等。相談支援事業所と連携をして情報を共有している。		
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	必要に応じて活動(集団・個別)を組み合わせている。		
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	具他の内容まで記載できていないこともあるため、細かいところまで記載できるようにする。		
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援会議と事業所内での会議で見直しを行う。		継続して実施する。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	職員全体で活動内容を考えプログラムを立案している。	はい:24名 わからない:1名	プログラムを通して何に課題があるのか分かるようにする。飽きないプログラムを考え実行する。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	状況に応じ、平日・休日ともにプログラム内容を考え実施している。		今後も継続して対応する。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	固定化にならないように活動内容の振り返りを行っている。		プログラムに多様性を持たせ楽しめる工夫を行う。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	朝礼時に当日利用児童の注意点、その日の流れ役割を確認している。		継続して実施していく。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	送迎の兼ね合いで確실히行えない時もあるが、ラインでの情報共有、翌日の開始前に確認するようにしている。各児童の記録を残している。		継続して実施していく。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々の記録はデータベースで入力して記録者以外も確認できるようにしている。記録を振り返り職員間で共有している。		継続して実施していく。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年に一度、または必要に応じて評価を実施する。		継続して実施していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	積極的に参加をしている。		関係機関と今後も連携を行う。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	出来る限り情報共有を行っている。		近隣・地域との交流はないが機会があれば参加したい。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	全体に伝えることは無いが、個別で質問などがあったときには伝えるようにしている。		同法人のサービスを希望する保護者も多い。学校卒業後のサービスに繋がられるようにする。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	専門機関での研修には参加が出来ていない。		機会があれば検討をする。
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	交流は出来ないない。機会が無く、機会を作ることも難しい。	はい:4名 どちらともいえない:1名 いいえ:8名 わからない:11名(回答無し1名)	
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	現在は実施してない。		機会があれば実施して、障害等への理解を求める場にしたい。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	見学、契約時に書面と口頭で説明を行っている。	はい:24名 どちらともいえない:1名	継続して実施していく。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	計画書を示し口頭での説明をしている。	はい:23名 どちらともいえない:1名 わからない:1名	面談などの機会を設け丁寧に説明できるようにしたい。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ペアレント・トレーニングは実施していない。	はい:5名 どちらともいえない:5名 いいえ:8名 わからない:7名	現在、実施の予定はないが相談があれば丁寧に対応していく。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時に聞き取りをしたり、連絡帳・ラインを活用している。	はい:24名 どちらともいえない:1名	保護者との連絡を丁寧に行っていく。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	相談などを聞くことは行っているが、必要な助言まで行えていない時がある。		ご家族の悩みなど、職員が共通理解で支援につなげていく。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現在、実施していない。	はい:1名 どちらともいえない:3名 いいえ:16名 わからない:5名	保護者会は実施したいと思うが、ご家族の仕事の都合などで参加できる方が限られてくる可能性がある。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情の受付・対応など契約時に説明。記録を取り、事業所・法人で周知・解決するようにしている。	はい:17名 わからない:8名	保護者からの意見を支援に反映させ、より良い事業所になるよう努める。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	必要に応じて口頭だけではなく書面で説明、電話やラインで伝達できるように配慮している。	はい:23名 どちらともいえない:1名 わからない:1名	継続して実施していく。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	法人で広報誌を年2回発行している。行事や日々の様子等写真や動画で都度発信している。	はい:21名 どちらともいえない:2名 いいえ1名 わからない:1名	日々の様子を写真などで伝えていけるようにする。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	取扱いについて職員に周知を行い、個人情報に関する物は持ち出し厳禁の徹底配慮をしている。	はい:22名 どちらともいえない:2名 わからない:1名	今後も取扱いに気を付け日々の管理を行う。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルの作成はしているが、保護者への周知は出来ていない。	はい:8名 どちらともいえない:5名 いいえ:3名 わからない:10名	マニュアルを策定し保護者の方にも周知できるようにする。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	現在、避難訓練などの実施が出来ていない。	はい:8名 どちらともいえない:2名 わからない:15名	定期的に行えるようにする。普段の活動の中に取り入れられるか検討する。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	職員研修、施設外研修を実施している。		継続して実施していく。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	対象児童がいない。		対象児童がいた場合、適切な対応を行う。日時、内容、時間を記録・書面に残す。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時にアレルギーの有無・症状発生時の対応を聞き職員に周知している。		継続して実施していく。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	報告書の作成、情報を共有している。		継続して実施していく。